

1. 地域活動としてJAが取り組む子ども農業・農村体験

1) 地域の子どもたちを対象に1年を通した農業・農村体験

JA北信州みゆき「あぐりスクール」

◆活動主体について

JA北信州みゆきのある岳北地域は長野県の最北端に位置し、日本でも有数の豪雪地帯である。寒暖差の激しい内陸盆地気候と千曲川支流の清水に恵まれ、コシヒカリなどの米、リンゴ、モモ、ズッキーニ、キノコの産地としても知られる。ブルーベリー、アスパラガスの出荷量は日本一である。

平成10年、飯山市をはじめとする5市町村のJAが合併して誕生したのがJA北信州みゆき。グリーン・ツーリズム事業や高齢者福祉事業にも積極的なJAである。また、男女共同参画事業の一環として40歳以下の女性を対象に臨時託児所つきの「女性大学」も開校している。

◆取り組みの経緯

JA北信州みゆきでは10年ほど前から生産者（農村）と消費者（都市）の交流をめざし、飯山市、観光協会とともにグリーン・ツーリズム事業を実施。参加者が四季折々の農村環境のなかで自然や食文化、農林業を体験できるようインストラクターの育成にも力を入れている。生協や都市部のJA、小中学校と提携して2～3週間の長期滞在の受け入れも行っている。

平成14年、JA北信州みゆきでは全国に先駆けて管内の小中学生を対象とした「あぐりスクール」を開校した。この試みは学校週5日制と「総合的な学習の時間」の導入にともない、「JAに何ができるか」「何をしなければならないか」という発想から生まれた。次代を担う子どもたちに農業や食糧、協同の大切さを伝えることで子どもたちの地域を愛する心を育もう、というのがこのプロジェクトのねらいだ。石田正人組合長はこのプロジェクトを通して子どもたちに農業のすばらしさと命のすばらしさ、つまり「農魂」を教えたいという。

今、地域の子どもたちに何を伝えるべきか—具体的なカリキュラムについて

は職員たちが企画を出し合った。「子どもたちに農作業を体験させるなら真剣勝負でやらなければだめだ」「子どもたちが植えた苗を後に大人が植え直すようなことをするのは田植えをさせる意味はない」「そのためには正しい農作業の方法を教えるだけでなく、なぜ、そういう方法で行うのか、その理由もしっかり説明しなくてはならない」などの話し合いがなされた。もちろん、これにはグリーン・ツーリズム事業を通して培ってきたノウハウも十二分に生かされている。そして、1年間を通して楽しめる「農のにおいのある」「命を育む」「土のぬくもりを感じられる」カリキュラムとして19案のうち13案を採用。JA小学校ともいえるあぐりスクールが開校されることとなった。

入校児童の募集についてはJA管内の小学3～6年生のいる家庭すべてにチラシを郵送し、100人の児童を募集。申し込みはJA各支所長宛とした。入校料は1人5,000円だが、不足分はJAが負担している。

◆活動の概要

あぐりスクールの授業は1年間を通して13回。開校日は4月から12月まで毎月2回、原則として土曜日である。参加した100人の子どもたちを12～13人ずつ、8クラスに組分け。異年齢、異地区の集団をつくる。各クラスにはクラス長1名、副クラス長2名を互選した。校長は石田組合長、担任と副担任はJA職員が務め、授業を指導。

授業の内容により専門講師がクラス担任となるが、14年度は「生活科」はJAの企画管理部と総合対策部と生活部が、「体育科」は信用部と共済部と総務部が、「農業科」は営農部と工機燃料部が担当した。それぞれが事前に入念な話し合いをし、手づくりのプログラムを企画、実施。授業によっては石田校長も参加し、自ら田植えの範も示した。

授業は4月の「開校式(大バーベキュー大会)」からスタート。授業内容は「田植え・カヌー体験」、「きのこ施設見学とサツマイモの植え付け・大豆の種まき」「JA管内の旅—いいところ再発見」「海外(佐渡)研修」「都市の子どもたちとの交流」「親子参加によるサツマイモ掘りといもパーティ」「稲刈り・大豆収穫」「稲・大豆の脱穀と収穫祭」「JA祭でバザーと文化祭」「豆腐づくり」など。

あぐりスクールの授業は原則として雨天決行である。第一回目の「田植え・カップ体験」が行われたのはとても寒い日であり、参加した子どもたちの体は冷えきっていた。「一回目で風邪などひかせたら大変」と、担当者は解散場所であるJA本所にミニ・カップヌードルとお湯を用意。子どもたちは温かいカップヌードルを啜ってから帰宅した。これは子どもたちにも大評判。親たちからも「さすが、JA」とお褒めの言葉をいただいたという。このようなこまやかな配慮もあぐりスクール成功の秘訣といえよう。

なお、農業科の授業ではJA職員だけでなく青年部やベテラン組合員の応援も不可欠であった。

◆成果と今後の課題

子どもたちの出席率は80パーセント。子どもの送迎の際に親たちとの交流も深まっていった。12月に行われた閉校式の保護者懇談会には約50名が出席。「他の学校に友達ができて喜んで」「土曜日の休みが有意義に過ごせた」「異年齢の友達ができた」「農業や食べ物のことに興味をもつようになった」「農業体験の機会のない農村のサラリーマンの子どもにとって本当に有意義な体験ができた」などの感想が寄せられた。家庭でもあぐりスクールが頻繁に出るという。教育委員会の評判もよく「来年も続けてほしい」という要望が出たほどだ。

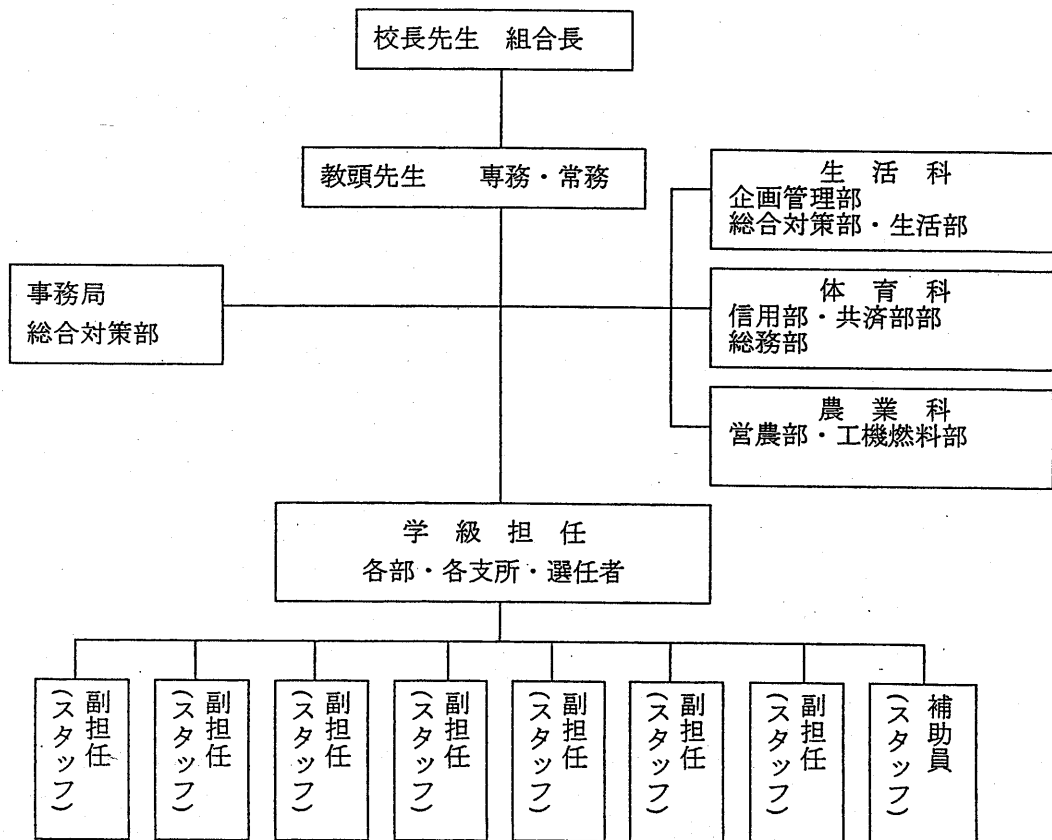
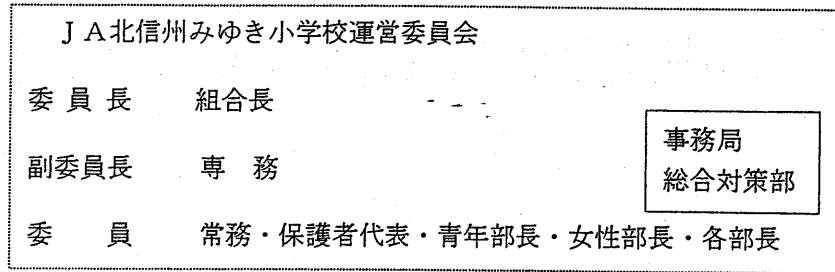
子どもたちは回を重ねるごとに目の輝きが増し、自主性を発揮。クラスが異年齢集団ということもプラスに作用した。いつのまにか年上の子が年下の子の世話をしたり、指導に当たったりするようになっていた。各小学校でもあぐりスクールのことが話題になっていて、これまではJAと関わりのなかった人たちがあぐりスクールを通じてJAに親近感をもつようになったといえよう。次々世代の子どもたちを取り込むことは、その親たちである次世代をも取り込むことになる。

また、子どもたちを指導することでJA職員たちの指導力や知識力、技術力もアップ。組合員に指導するのは異なり、かみ砕いて教えなければならず、作業のしかたをわかりやすく、かつ理論的に教えるテクニックも習得しつつあ

る。職員側にも自信とやる気が芽生えてきたという。このようにあぐりスクール開校のメリットは予想以上といえる。

これからの課題は、あぐりスクールを一過性ではなく継続した活動にしておくこと。そのためにはカリキュラムの検討、子どもたちの継続参加や卒業生の扱い、そして、費用の工面などについても考えなければならない。そして、さらに地域の住民たちとの交流を深めていくことで、地域を担う次の世代を育成し、地域におけるJAの役割を果たしていきたいと考えている。

資料1：JA北信州みゆき・あぐりスクール組織図



副担任 (スタッフ) 人数	【各部・支所4回】
<p><本 所> 企画管理 1名 ・ 総合対策 2名 ・ 総務 2名 ・ 信用 2名 ・ 共済 3名 営農 4.5名 ・ 生活 3名 ・ 工機燃料 3名</p> <p><支 所> 秋津.木島 1.2名 ・ 瑞穂.常盤 1.2名 ・ 旭町.富倉 1名 外様.太田 1.2名 ・ 岡山・栄 1名 ・ 木島平.大町 1.2名 市川.野沢温泉 2.5名 ・ 飯山 3名 ・ 豊田.上今井.永田 1.2名 計 34.2名 × 4回 = 延べ 137名 (事務局 総合対策部)</p>	

資料2：年間カリキュラム（平成14年度）

生活科 5時限 農業科 4時限 体育科 4時限

月日時間	主幹科	カリキュラム	内 容
4月27日(土) 8:30~13:30	生活科	・開校式・クラスの時間 ・読書会 ・大バーベキュー大会 【親子参加】	クラス長や1年間使用するクラス旗を作ります。そしてみんなで菜の花に囲まれて、専門家の朗読に耳を傾けます。さらに、親子みんなでワイワイがやがや大バーベキュー大会！
5月18日(土) 8:30~11:30	農業科	田 植 え カヌー体験	様々な栽培方法で、稲の一生について体験を通じての学習をします。そして湖で安全性に優れたカヌーに乗ってみよう。
6月1日(土) 8:30~11:30	農業科	・植付け作業 ・きのこ栽培見学 ・集出荷センター見学 ・JAの時間	サツマイモ・大豆の一生について学習するため作付けをおこないます。また、日本一の産地であるきのこ栽培を見学。きのこはどのように・どこへ行くのか流通の仕組みも学習します。
6月22日(土) 8:30~11:30	体育科	・JA北信州みゆき 管内の旅	JA管内をバスでグルッと一周。この地域には素敵なものがたくさんあるんだ
7月31日(水) 8:00~ 8月1日(木) 17:00	体育科	・海と山の子交流キャン プ ・読書会	海へ行き海の子供たちと交流。海の音を聞きながらの専門家による朗読に耳を傾けます。夕食は野外炊飯。みんなでテントを張ってテント泊。夏の思い出に。
8月17日(土) 8:30~16:00	体育科	・都市の子どもたちとの 交流	都市の子どもたちと一緒に遊ぼう。そして都市の子どもたちに住んでる地域を紹介してあげよう。
9月21日(土) 8:30~12:30	生活科	・サツマイモ掘り ・いもパーティー 【親子参加】	いよいよサツマイモの収穫。大きなサツマイモを調理してみんなでいもパーティー。
10月5日(土) 8:30~11:30	農業科	・稲の収穫体験 ・カントリー見学	昔ながらの鎌やバインダー・コンバインの機械を使っの稲刈り体験。ハゼ掛けも行い、カントリー施設の見学。現在の乾燥・調整方法も学習しちゃう。また大豆も収穫します。
10月19日(土) 8:30~11:30	農業科	・脱穀・収穫祭	足ふみ脱穀機や千歯コキ・ハーベスターを使っの脱穀。昔と今の脱穀の違いは？ 大豆もはたいて選別。みんなで餅つき大会。収穫の喜びを分かち合おう！
11月3日(日) 10:00~15:00	体育科	・JA祭バザー ・あぐりスクール文化祭	収穫した農産物などをJA祭で販売します。有名スポーツ選手のスポーツ教室なども計画中。
11月16日(土) 8:30~11:30	生活科	・豆腐作り	収穫した大豆で、手作り豆腐を作ります。手作り豆腐はうまい！
12月7日(土) 8:30~11:30	生活科	・クラスの時間	発表会にむけて準備します。1年間の思い出をふり返って、みんなでまとめよう
12月21日(土) 8:30~14:00	生活科	・発表会・閉校式 ・おつかれさん会 【親子参加】	いよいよ発表会。胸がドキドキ・わくわく。 1年間は短かった？ 長かった？ 親子みんなで最後の屋食会です。



JA北信州みゆき あぐりスクール

平成15年度生募集中です!

◎テーマ **— みつめよう北信州 —**

◎実施期間 平成15年4月～平成15年12月
開校予定日：4月26日(土)

◎入校料 8,000円(傷害保障付き)
※授業内容により別途ご負担いただく場合があります。
※教材「ちゃぐりん」1年分の購読料を含みます。ただし、既に年間購読されている場合は相当額をお返しいたします。



◎対象者 JA北信州みゆき管内の
小学校3～6年生

◎募集定員 120名
(定員になりしだい締切り)

◎募集締切 4月10日(木)


詳しいご案内・お申込書は全員にお届けいたします。

お申し込みは……お近くの支所へ
お問い合わせは……本所総合対策部
(TEL0269-62-4168)まで

カリキュラム(予定)

月日	内容	備考
4/26	・開校式 ・クラスの時間 ・バーベキュー など	親子参加 ちゃぐりん
5/10	・カボチャ植付け など	ちゃぐりん
5/24	・田植え体験 など	
6/7	・畑の植付け ・カヌー など	ちゃぐりん
6/21	管内いいところ発見	
7/28 ～29	海外研修(佐渡)	海の文化 体験
8/10	親子自然「楽習」 (カヤの平)	親子参加 ちゃぐりん
8/30	おいしいちゃん・おばあちゃん との交流	
9/27	・流通の学習 など	ちゃぐりん
10/5	・稲刈り ・はぜ掛け など	親子参加 ちゃぐりん
10/18	・脱穀 ・畑収穫	
11/2	JA祭(農産物販売体験)	
11/15	・収穫祭 など	親子参加 ちゃぐりん
12/7	・発表会 ・閉校式	親子参加



【全体運】進めている事柄に待ったがかかる暗示 強引突破せず調整を 【レジャー運】菓の花畑に元気の元が 【健康運】脚腰を控え、肩をいたわろう 【幸運を呼ぶ食べ物】ヨーグルト  蟹座(6-22～7-22) 4月の星占い

資料4：あぐりスクールの活動風景

